

## 龍神様が尊敬して下さいます

親鸞聖人の書かれた現世利益和讃という十五首の歌があります。八首目に「なもあみだぶつをとなえると、無量の龍神が夜昼常に護ります」とあります。

龍神とは仏教を守護する鬼神です。浦島太郎のお話に出てくる龍宮城とは龍神の首都です。龍宮城は、仏陀が説いた沢山の經典が収納される場所つまり永遠真実の領域をさします。

永遠真実の龍神が私を護るということは、私と經典が同じということなのです。

欲望や愚痴や妬みなどの煩惱が噴出する器ですが、それに左右されることなく、なもあみだぶつという真実が私を護って下さっているのです。

救われるということは、救う側である仏陀が絶対的慈悲と想定外という領域を完全否定する無限の智慧があるからこそ、私達は救われるのです。救われる側に救いの法が届くからこそ救われたと言えるのです。

なもあみだぶつを唱えたあとに救われるのではなく、なもあみだぶつが私に届いた時に救われているのです。合掌

京都きらら幼稚園  
鯉のぼり

